

11月 給食だより



11月23日は勤労感謝の日です。わたしたちが食べている食べ物は、いろいろな人によってつくられ、届けられています。さまざまな人の苦労があるおかげで、わたしたちは食事をする事ができています。「ありがとう」の気持ちが伝わる食事の仕方について、考えてみましょう。

想像してみよう！ 給食を支える人びと

学校給食には、多くの人がかかわっています。献立を考える栄養士、その献立をもとに調理をする調理員さん、食べ物を育てたりとったりする農家さんや漁師さん、食べ物を運ぶ運送業者さんなどです。ほかにもいろいろなひとが学校給食を支えています。その人たちへ、感謝の心をもって食べましょう。



農家さん



漁師さん



食べ物を
運ぶ人



家の人



栄養士や
調理員さん

11月は
しまね・ふるさと給食月間
です！



島根県では、6月と11月を「しまね・ふるさと給食月間」と定めています。

学校給食では、この期間に、地域でとれた食材や地域で作られた食品をできるだけ多く取り入れます。

八雲学校給食センターでは、八雲町の特産品である「いのしし肉」、八雲町で作られた「こまつな」や「さといも」、「だいこん」などの農作物、平原みそ、宍道湖でとれた「しじみ」、松江市の和菓子屋さんで作られた「じょうよまんじゅう」などが登場する予定です。

みなさんには、いつも以上に、ふるさとの食について関心を持ち、生産者さんたちに感謝をしながら、地域の食材や食品をおいしく味わってほしいと思います。



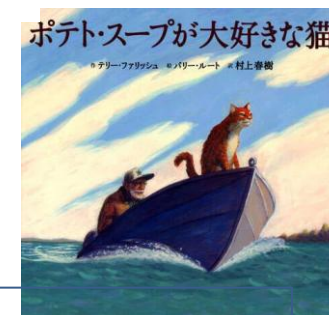
👉 じょうよまんじゅう：松江城の焼き印入りです

おはなし給食

～絵本の中の料理が、給食に登場します！～

読書を楽しもう！ 10月27日～11月9日「読書週間」

秋の読書週間にちなんで絵本『ポテトスープが大好きな猫』より、「ポテトスープ」を給食に取り入れました。一体どんなスープなのか、お楽しみに！



『ポテトスープが大好きな猫』作 テリー・ファリッシュ 絵 バリー・ルート 訳 村上 春樹

物語の舞台はアメリカ・テキサスの田舎。登場するのは、ちょっと頑固で無愛想だけど優しいおじいさんと、ねずみも捕らずのんびり暮らす年老いた雌猫。おじいさんと猫は、静かな日々を共に過ごしています。猫の大好物は、おじいさんが作るポテト・スープ。毎朝一緒に湖へ釣りに出かけるのが日課ですが、ある日、猫が起きてこず、おじいさんはひとりで出かけます。釣りから帰ると、猫がいない…。おじいさんと猫はまた一緒にスープを食べることができるのでしょうか。

📖 市立中央図書館から 📖

本を読むと、知らないことがわかったり、主人公になりきってさまざまなことを体験できたりしますね。

また、本の中の言葉に勇気づけられたり、1冊の本が将来の夢や自分の生き方を考えるきっかけになったりすることもあります。バランスのよい食事が、みなさんのからだを育ててくれるように、本はみなさんの心の栄養になってくれますよ。

どんな本を読んだらいいか困った時は、学校やまちの図書館へ行ってみましょう。たくさん本がみなさんを待っています。すてきな本との出会いがありますように！

松江市立図書館（中央・島根・東出雲・移動図書館）では、9/27（土）～11/27（木）まで、おいしい食べ物が登場する絵本や物語の本を展示しています。

食事のあいさつをしましょう

＼いただきます／

＼ごちそうさま／



日本では、食事の前と後に「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつをします。感謝の気持ちを込めて食事のあいさつをして、味わっていただきましょう。